

子ども議員任命式&交流会を行いました！

令和3年8月1日(日) 滋賀県庁新館7階大会議室

8月1日(日)に、2021年度「滋賀県子ども県議会」子ども議員任命式を行いました。子ども議員として選ばれた小学4年生から中学3年生までの30名が、知事から任命書を受け取りました。12月27日(月)に開催予定である子ども県議会に向けての活動がスタートしました。

また、交流会として、これから共に活動していく仲間とアイスブレイクを通して交流しました。地域や学年の異なる子どもたちが集まり、はじめは、緊張していた子どもたちもだんだん打ちとけ、「これからがんばっていこう」という子ども議員としての熱い思いが感じられました。

これから行われる体験活動や学習会を通じて、これまで以上に、滋賀県や琵琶湖のこと、そして、共に生きる人たちや身の回りの生き物のことを想い、より深く考えていきたいと思っています。



知事から「これからがんばって活動してほしい」とお言葉をいただきました。



任命式の後には、これから活動していく仲間と交流を深めました。



【子ども議員の声】

任命書を手にして、やっと実感がわいてきました。雰囲気も分かってきて、意外と楽しかったです。最後のグループ活動では、SDG-sや気候変動に関することを考えられてよかったです。

次回(第2回)は、8月18日(水)に、守山市で3グループに分かれて体験や活動を行い、午後は、体験したことをみんなで共有します。



最後は、次回の活動グループに分かれて、活動の見通しをもち、質問したいことを考えました。

子ども県議会第2回活動(オンライン)～米原市のゲストのお話～

9月12日(日) 10:00-16:00



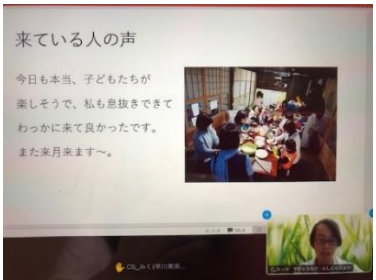
子ども県議会第2回の活動は、米原市における地域体験活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け、オンラインでの活動に変更しました。子ども県議会の活動において、オンラインというのは初めての試みでしたが、新しいスタイルに向けての第一歩となりました。オンラインに慣れることから始まり、午後は、3グループに分かれて、米原市から様々なゲストの方に登場していただき、お話を聞いたり、質問したりして、学んだことをみんなで共有しました。画面を通してではありますが、それぞれに学び多き一日になったようです。

今日のゴール

- ① オンラインに慣れよう ② ゲストから学ぼう ③ グループで話そう



午後からは、3つのグループに分かれて、ゲストの方に登場いただき、お話を聞いたり、質問をしたりしました。

	グループ A	グループ B	グループ C
テーマ	未来の滋賀の交通を考えよう	参加型まちづくり ～公共空間をみんなで使おう～	誰もが まるごと受け止められる社会
ゲスト	近江鉄道株式会社 福田 様	ルッチまちづくりネット 谷口 様、森川 様	NPO 法人わか 柳生 様(のびさん)
お話の様子			
振り返り	近江鉄道では、上下分離のことを聞いた。新しい方式のことや、近江鉄道がされているイベントについて教えてもらった。	人と人がつながって、かかわれる機会が大切。まちの課題解決に向けて進めることが大切だと感じた。	みんなの居場所の大切さを教えてもらった。

子ども議員の声

- 近江鉄道がどんな取り組みをされているのか、よく分かった。近江鉄道の魅力を伝えたい。
- まちをよくするために、活動を起こしていくことが大切だと思った。新しい発見があった。
- スピーカービューにすると、話している人の顔もしっかりと見ることができてよかった。オンライン上でもゲストの人と話ができて、質問できたり、相手の考えやみんなの考えが分かったりしてよかった。
- オンラインで話しづらかったり、対面でなくてさみしかったりしたのはあったけど、オンラインでもゲストの方に話が聞けてよかった。はじめてのオンラインで緊張したけど、うまく行ってよかった。

子ども県議会第3回活動(オンライン)～守山市のゲストのお話～


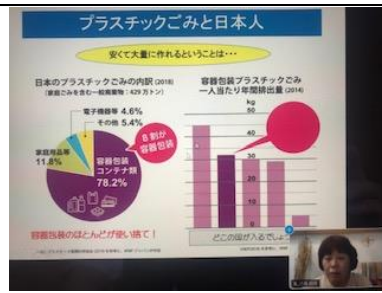

9月19日(日) 11:00-16:00

子ども県議会第3回の活動は、守山市のゲストの方に登場していただき、お話を聞いたり、質問をしたりしました。今回も前回と同様に、オンラインでの活動となりました。オンラインの操作にもだんだん慣れてきて、グループ内で積極的に発言したり、質問したりする様子が見え、前回よりも充実した活動になりました。今回も前回と同様、守山市のゲストの方に登場いただき、お話を聞かせていただき、自分たちにできることを考えました。

今日のゴール

- ② ゲストから学ぼう 話を引き出そう ② 自分の考えを伝えよう ③ ほかの人の考えを自分のものに

午後から、3団体のゲストの方にお話をお聞きしました。

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
ゲスト	(FFFしがより)高須海地 様、 玉崎ふき 様、細野真愛 様、 ラウパツハ・スミヤ・ヨーク 様	すとりーている 八尋由佳 様	フードバンクびわ湖 曾田俊弘 様
お話の様子			
ゲストから一言	マーチをしているが、まだまだ小さい運動。子ども議員のみなさんも一緒に歩めたらよい。自分がやらなければいけないという自覚をもって、行動してくれるとよい。FFFもメンバーを募集している。少しでも興味があったらぜひ来てください。今から行動を起こすことが大事。	まずは、自分に何が必要か考えて、行動をすること。そして、一緒に活動してくれる仲間を見つけること。どんどんその輪を広げてほしい。消費者の私たちが変わると、企業も変わる。循環のサイクルを良くしていこう。今後に向けて訴えてほしい。	自分たちにできることは何かを考えていることがありがたいし、頼もしい。個人でできることはたくさんあるので、まずは、自分の家で食品ロスを減らすことから始めてほしい。それぞれの学校や地域から、フードバンク活動を始めてほしい。そうすることで、大きな力になる。

子ども議員の声

- まずは、プラスチックゴミが多いことを知ってもらうことから始め、そこから、自分たちに何ができるかを考え、ネットワークをつくっていくことが大事だと感じた。
- 給食の食べ残しをどうやって減らすといいのか、みんなで考えていきたい。
- 自分から参加できる活動もたくさんあるので、仲間と協力して、活動していきたい。

子ども県議会第4回活動(学習会①)～ウィッシュポエムづくり～

10月3日(日) 10:00-16:00

子ども県議会第4回の活動は、県庁に集合して行いました。子ども議員同士、久しぶりの再会を喜びました。前回2回の活動はオンラインでの活動で、「滋賀について知る」インプットの活動でしたが、今回からは、子ども県議会当日に向けて、自分の考えを出していくアウトプットの活動となりました。ウィッシュポエムづくりや子ども宣言づくりを通して、滋賀県の10年後の姿について、自分の考えを出し合い、みんなで話し合いながら、考えをまとめていきました。

今日のゴール

ウィッシュポエムづくりや子ども宣言づくりを通して、意見を出し合い、聞き合っ、対話を行う。

10年後の滋賀の未来を考えて、「10年後、こんな滋賀県だったらいいのにな～」を短冊に書きました。それぞれが、自分のいちばんを発表し、似た意見同士で、グループをつくり、ウィッシュポエムを作りました



7つの委員会、①交通管理委員会、②スマイルプロジェクト委員会、③環境問題考えたい(隊)委員会、④人口を増やして滋賀を活発にしよう!委員会、⑤滋賀をもっと知ってもらいたい委員会、⑥学生生徒のなやめる人権委員会、⑦生き物を大切に委員会ができ、それぞれにウィッシュポエムを発表しました。

<p>②スマイルプロジェクト委員会</p>	<p>③環境問題考え隊委員会</p>
<p>④人口を増やして滋賀を活発に委員会</p>	<p>⑥学生生徒のなやめる人権委員会</p>

その後、これまでの子ども県議会の映像から、「子ども宣言」について、みんなで確認し、委員会ごとに、子ども宣言を考えました。

子ども県議会第5回活動(学習会②)～提案文を書こう～

10月23日(土) 10:00-16:00

子ども県議会第5回の活動も、前回に引き続いて、県庁に集合して行いました。子ども県議会の活動も早くも大詰めとなってきました。

今回は、子ども県議会当日の役割分担を行うとともに、これまでの活動を通して、子ども県議会
で伝えたいことを提案文にまとめていきました。子ども県議会では、提案をする役割だけではなく、
議長や子ども宣言の発表など様々な役割があることを知り、自分がどの役割で頑張りたいのか、考
えました。そして、提案文づくりに入る前に、提案文の作成の仕方について、全員で学習しました。
過去の先輩方の提案文を見ながら、より説得力のある提案文にするためのポイントを学びました。
提案文を作成する中で、足りないところや「こうしたらどう
だろうか」と、子ども議員同士で話し合ったり、サポーター
に意見をもらったりしました。

今回の学習会を終えて、もう少し必要なことを自分で調べ
たり、資料を探したり、インタビューをしたりして、提案文
の完成に向けて取り組んでいきます。自分の思いを大切に、
しっかりと考えをまとめてほしいものです。



今日のゴール

- ・提案文を作る過程で、自分の気持ちを他者へ伝える術を知る
- ・提案文を試行錯誤する中で、サポーターや他の子ども議員と共にアイデアを出し合い、一緒に作る過程を体感する

提案文を書いていくために、過去の提案文から、どのように書けばいいのか学習しました。そして、社会
を変えるために、子どもたちでできることをグループで出し合いました。



午後からは、まず、子ども県議会での役割を決め、議長が決定しました。そのあとは、提案文を書いた
り、子ども宣言を作成したり、それぞれに自分の役割に一生懸命取り組みました。



子ども県議会第6回活動(学習会③)～リハーサル～

12月11日(土) 10:00-16:00

今回で学習会も最終回です。子ども県議会当日に発表する提案や子ども宣言、議長の各担当で準備や打合せを行いました。提案をする子ども議員は、話す声の大きさや速さ、抑揚のつけ方、姿勢、視線などに気をつけながら、何度も練習をしました。子ども宣言については、宣言案を決定し、ポスターを作成したり、発表の練習をしたりしました。

午後からは、子ども県議会当日をイメージし、全体でリハーサルを行いました。本番の流れについて聞いた後、議長の進行のもと、全体の動きを確認しました。特に、みんなで声をそろえるところやおじぎをするタイミングなど、一つひとつ確認しながら、リハーサルが進んでいきました。

話す声の大きさや速さ、抑揚のつけ方、姿勢、視線など、お互いに、良かったところや改善点を伝え合い、子ども議員同士で高め合う様子が見られました。また、サポーターからもアドバイスをもらい、当日に向けて、気持ちがさらに高まった様子でした。

これで、学習会はすべて終了し、残すは、12月27日の子ども県議会当日です。一人ひとりが自分の役割を果たし、思い出に残る「子ども県議会」になることを願っています。

.....

今日のゴール

- ・自分の役割を自信をもって行えるように、しっかりと準備をする
- ・議会に向けて、仲間と助言し合い、良いものにしていく



議長・提案・子ども宣言のそれぞれの役割に分かれて、練習をしたり、子ども宣言を作成したりしました。



午後からは、会場を議場と見立てて、全体で、子ども県議会の流れを確認し、リハーサルを行いました。



子ども県議会

令和4年1月23日(日) 滋賀県議会議場

令和3年12月27日に開催予定でしたが、大雪で延期となり、令和4年1月23日に、開催しました。30名の子ども議員は、8月1日(日)に、任命されて以来、5回の学習会を積み重ね、広い視野から滋賀県について考えました。自分のことだけではなく、まわりの人のこと、未来のこと、そして生き物のことも考え、子ども議員同士で思いや考えを共有しました。その活動の集大成として、滋賀県議会議場で、滋賀県をよりよくするための提案や子ども宣言の発表を行いました。当日は、滋賀県議会101代目議長の高田博明様、厚生・産業常任委員会副委員長の駒井千代様にも来賓としてお越しいただきました。

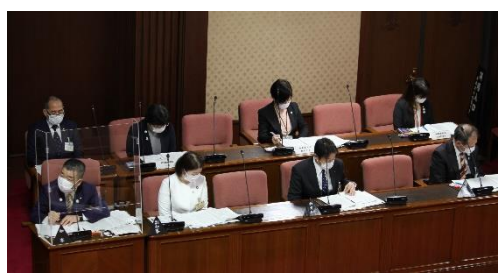
子ども議員は、歴史ある県議会議場において、それぞれの役割を果たし、堂々と発言する様子が見られました。この貴重な経験を大切に、子ども県議会の活動を通して学んだことや考えたことを、今後の生活において生かし、よりよい滋賀県にするために自ら行動していってくれることを願っています。



富田議長あいさつ



知事はじめ関係部局長等に質問に答えていただきました



今年度は、子ども議員から10の提案を行いました



みんなで考えた8つの「子ども宣言」を発表しました

